



6. 将来に備えた防災体制を築く

- ・有珠山・樽前山の噴火に備えた防災施設の整備、河川・砂防・ダムなどの総合的な治水対策、海岸の保全対策、災害に強い道路・港湾・空港整備など総合的な防災対策を進めます。
- ・災害時要援護者対策や自主防災組織の育成など地域防災力の強化を図ります。
- ・噴火に伴う災害復旧と将来の噴火に備えた防災対策を進めるため、自治体財政への支援を拡充します。
- ・国土保全、水源かん養、水質浄化、温暖化ガス吸収など多面的な機能を有する森林再生と治山事業により、山地災害対策を進めます。

7.“環境立国”北海道を築く

- ・北海道洞爺湖サミット開催地として、日本一の環境モデル都市をめざします。温室効果ガス排出量の削減目標を厳しく設定し、次世代に誇れる低炭素社会を実現します。
- ・家畜糞尿を活用したバイオガス発電やメガソーラーシステム導入により、光熱費ゼロ農家モデルを検討します。
- ・自然エネルギーのさらなる普及促進を図るため、世帯ごとの支援にとどまらず、団地単位、マンション単位への支援を行う、エコタウン・エコマンション構想(仮称)に取り組みます。
- ・地球温暖化防止ならびに地域産業構築の観点から、生産能力道内一である木質ペレットの需要拡大に取り組みます。

8.“観光立国”北海道を築く

(1)胆振広域観光の確立

- ・健康志向の高まりとともに、ヘルスツーリズム(医学的な根拠に基づく健康回復や維持、増進につながる観光)が注目されています。温泉施設を有効活用したヘルスツーリズムを定着させ、観光客の増加を図ります。
- ・「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」、「洞爺湖有珠山ジオパーク」、「アイヌ古式舞踊」、「ものづくり産業観光」などを活用した体験型観光を推進し、修学旅行を積極的に誘致します。

(2)馬文化を活用した“日高ならではの”観光政策

- ・トレッキング乗馬など、乗馬施設の連携と活性化を図ります。
- ・門別競馬場を競馬文化の拠点として位置づけ、競馬と観光の有機的連携を図ります。

9. アイヌの人たちが誇りを持って暮らせる地域を築く

平成20年6月、「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が国会で採択されました。これを踏まえ、「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」が設置され、アイヌ政策に関する議論が行われています。

- ・総合的アイヌ政策を推進する新法を制定します。
- ・参議院比例区にアイヌ民族の候補者を擁立するため、関係機関との協議を進めます。

胆振・日高重点政策

～友愛精神で、胆振・日高の明日を築く～

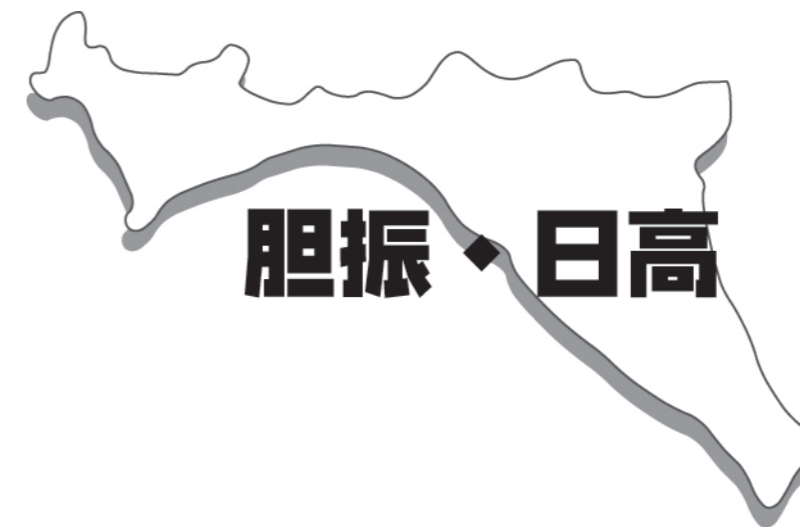
国民の生活が第一。



雇用を守り、暮らしを守り、地域を守る

民主党北海道 第9区総支部
〒059-0905 白老郡白老町大町2丁目1番27号
電話(0144)34-7773
FAX(0144)32-8109

民主党北海道第9区総支部



縦軸

民主党主要政策2009

横軸

民主党地方政策(胆振・日高重点政策)

はじめに

昨年来の世界的な経済危機の影響により、北海道第9区(胆振・日高)内においても、国民生活や企業活動に深刻な影響が及んでおります。

北海道が重点的に支援してきた自動車関連産業などいわゆる“ものづくり産業”は、輸出や生産が激減するなど厳しい事態に直面しており、雇用情勢も厳しさを増す一方です。

また、深刻な医師、看護師不足や商業施設の閉店、さらには学生や高齢者の足である生活交通路線の廃止、減便など、道民の生命や生活に直結する問題が続出しております。

人口減少や少子・高齢化の進行、道財政の危機的状況など、重要課題が山積する中、自民党政権は有効な政策を打ち出すことができず、事態の深刻化を招くばかりです。

昨年開催された北海道洞爺湖サミットで世界に認識されたように、北海道には雄大な大自然や豊かな食と農があり、観光や環境といった分野においても、大きな可能性をもっています。

このような北海道の特性を活かし、今後とも当地が、北海道経済をリードする“ものづくり産業”の基地としての役割を果たすため、さらには「国民の生活が第一」の政治を実現するため、民主党は思い切った政策を打ち出していまいります。

ここに、民主党北海道第9区総支部は、友愛精神で胆振・日高の明日を築くため、「胆振・日高重点政策」を策定いたしました。

1 民主党主要政策2009

1. 月額2万6千円の子ども手当を創設し、安心して子どもを産み育てられる社会をつくりまします。
2. 高校授業料の無償化で高校生の学ぶ権利を保障し、教育格差是正を図ります。
3. 安心の年金制度をつくりまします。

- ・年金通帳の交付で、年金記録問題の再発防止と
- ・年金制度に対する信頼の回復を図ります。
- ・年金記録問題被害者の補償を一刻も早く進めます。
- ・年金制度の一元化を進め、月7万円の最低保障年金を実現します。

4. 安心の医療を実現します。

- ・自公政権による年間2200億円の社会保障費削減方針を撤回します。
- ・医師養成を質・量ともに拡充します。
- ・救急、産科、小児、外科、へき地の医師不足を解消します。
- ・「医療従事者等確保支援センター(仮称)」を設置し、
- ・医療従事者の確保・あっせん・退職者の復職支援等を行ないまします。
- ・厚生年金病院・社会保険病院の存続を原則とします。
- ・後期高齢者医療制度を廃止します。
- ・国民健康保険財政の地域間格差を是正する。
- ・被用者保険と国民健康保険の段階的統合を進め、
- ・医療保険制度の一元的運用をはかりまします。

5. 第2のセーフティネット「求職者支援制度」を創設します。

- ・雇用のセーフティネットを拡充します。
- ・非正規労働者の待遇改善と雇用の安定をはかりまします。
- ・ワークライフバランス(仕事と生活の調和)の実現を進めます。

6. 「ひも付き補助金」から「一括交付金」へ制度を整え、中央集権から地方主権へと改革します。

7. 高速道路無料化で地域再生をはかりまします。

8. ガソリン税、軽油引取税などの暫定税率を廃止します。

9. 戸別所得補償制度で食料自給率向上、農山漁村を再生します。

10. 持続可能な成長へ、温暖化対策を強力に推進するとともに、新たな産業と雇用を創出します。

11. 日本経済の活力である中小・小規模企業経営を支援します。

12. 郵政事業の抜本的見直しで、国民生活の利便性を向上します。

II 胆振・日高重点政策

1.地域の明日を担う子どもたちのために安心な子育て・教育環境を築く

- ・胆振・日高の自然・伝統・文化、さらには地域産業に直結した教育を推進し、地域を担える人材を育てます。
- ・「洞爺湖有珠山ジオパーク」を発展させ、有珠山地域を次の世代を担う世界の若者たちの環境教育の拠点とするため「世界環境教育センター(仮称)」を整備します。

2.医療・福祉の充実で安心安全社会を築く

- ・登別厚生年金病院の存続を図ります。
- ・日高地域センター病院である浦河日赤病院について、地域周産期母子医療センター指定をめざすとともに、急性期心疾患・脳卒中などの治療態勢を整備します。

3.交通ネットワークの整備で“日本の玄関”北海道を築く

(1)新千歳空港のグローバル化

- ・北海道経済が一層発展していくためには、新千歳空港のグローバル化が必要不可欠です。新千歳空港を“日本の玄関”とするため、地域住民のご理解をいただきながら、次のとおり機能強化を進めます。
- ・羽田空港の再拡張に伴う夜間、早朝時間帯の発着枠の拡大国際拠点空港化の促進

(2)高速道路の無料化と日高自動車道の建設促進

- ・高速道路料金を無料化するとともに、物流のネットワーク化と地域住民の利便性向上のため、次の道路整備を進めます。
- ・日高自動車道の建設促進(厚賀～静内間の早期開通、静内～浦河間の早期事業化)

4.“世界の食糧基地”北海道を築く

(1)農業活性化のための改革

- ・近年、食の安全・安心を揺るがす事件が頻発し、食の安心・安全に対する消費者の関心は高まっています。民主党は、消費者の視点に立ち、生産から消費までのトレーサビリティシステムを導入し、「北海道ブランド」を再構築します。
- ・胆振・日高の重点品目を選定し、生産(1次)～加工(2次)～販売(3次)を一元的に進める農業の「6次産業化」を推進します。

(2)漁業活性化のための改革

- ・近年、サケ・ホタテの在庫増に伴う魚価安にどう対処するかが課題となっています。国として魚価安定基金を支援し、生産調整を図ることにより、漁業者と水産加工場の

経営を安定させます。

- ・資源管理の取り組みを進め、マツカワ栽培漁業の自立化・ブランド化、サケの資源増大、産卵藻場の造成によるハタハタの資源増大を図ります。また、ナマコなど新たな魚種の栽培技術開発にも積極的に取り組みます。
- ・新規就業者の確保や人材育成など担い手対策を進め、漁業経営の安定を図ります。

5. 地域の特性を活かした強い産業を築く

(1)“ものづくり産業”の強化

- ・胆振・日高の得意分野を集結させ、消費者のニーズの高い製品を「メイドイン北海道」で商品化できる体制を構築します。
- ・次世代自動車や新エネルギー(バイオ・太陽光発電・太陽電池)関連企業の誘致を積極的に進めます。
- ・道内最大の工業地帯である胆振地域は、石油精製・紙・パルプ・鉄鋼・自動車部品製造業が集積しています。これに加え、P C B処理施設や使用済み自動車のリサイクルなど高度な技術力を活かし、環境・リサイクル関連産業の拠点を形成します。
- ・2012年にシップリサイクル(船舶から発生する鉄スクラップのリサイクル)条約が発効することを踏まえ、室蘭における安全なりサイクルシステムを構築します。

(2)港湾の整備

- ・道内港湾の国際貨物取扱量の8割を占める苫小牧・室蘭港湾の一層の整備を図り、北米と東アジア地域を結ぶ国際海上コンテナ輸送の中継拠点として、国際物流機能の強化に取り組みます。
- ・環境にやさしい海上輸送を推進するため、モーダルシフトを強力に推進するとともに、フェリー航路再開に向けた支援を行います

(3)商店街の活性化

- ・中心市街地空洞化対策として、中心市街地・地域商店街における商業活性化の取り組みを強力に支援するとともに、これらを担う人材の育成を進め、胆振・日高の中心市街地のにぎわいを再生します。
- ・コンパクトシティへの取り組みを支援し、高齢者にやさしい“まちなか居住”の環境整備を進めます。

(4)軽種馬産業の強化

- ・世界に誇る日高・胆振の軽種馬産業を下支えするため、中央競馬や他の地方競馬との連携を図り、産地競馬としてのホッカイドウ競馬の存続を支援します。
- ・強い馬づくりのため、経営の協業化・共同化や育成調教施設の整備を進めるとともに、軽種馬生産から黒毛和牛など多品目への経営転換を支援します。